

「ギャンブル等依存症」専門相談事業の流れ

H30年4月1日～ 受付開始

堺市在住のギャンブル等依存症者本人・家族等

平日9時～17時半 代表電話で受付

こころの健康センター相談担当職員

インテーク面接 → 受理会議(医師等)

医師による
相談

月1日×2枠

センター心
理士による
心理相談

心理検査の
実施など

家族教室
の利用

回復プロ
グラムの利用

他機関の
紹介

医療機関 司法書士
自助グループ など

ギャンブル等依存症専門相談

相談担当職員による相談

- 平日9時～17時半、本人、家族等からの相談に応じる
- 複数職種でのインテーク面接後、精神科医を含めた受理事会議にて処遇を検討する
- 個別面談を中心にして、状況に応じて、適切な関係機関の紹介や、家族教室、心理検査、本人グループなどの利用をすすめる

嘱託医等による相談日

- 月1回 ×2枠
- 専門医等による相談を実施する

ギャンブル等依存症家族教室

相談当初は家族からの相談が多いことが想定されるため、年に数回複数のテーマで家族教室を開催する。

家族教室 案

テーマ	概要	講師
ギャンブル等依存症とは	ギャンブル等依存症の概要についての説明。家族が相談することの必要性。自助グループの説明など	専門医 有識者 司法書士 家族会 自助グループ 等を予定
借金問題について	借金問題の扱い方。家族の役割など	
背景に見られる精神疾患・障害について	ギャンブル問題の背景にある能力的な課題について。ストレスマネジメントについて、など	
家族体験談	ギャンブル等依存症の家族による体験談	
当事者体験談	ギャンブル等依存症から回復した当事者による体験談	

ギャンブル等依存症回復プログラム

当面は個別面談での支援を進め、個別でのプログラムの実施。
ケース数やケースからのニーズ状況を受けて集団プログラムの準備を進める。

認知行動療法に基づく治療回復プログラム

- SMARPP(依存症集団治療プログラム)をベースとしたプログラムを参考に、4～5回1クールで実施
- ギャンブル等依存症からの回復者等の外部講師によるファシリテーション